

# 2025年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

1

科コード	科名	ファッション流通科2年スタイリストコース	単位	2
科目コード	科目名	スタイリングフォト	授業期間	通年

担当教員(代表) : 木村 哲久	共同担当者 :
------------------	---------

教育目標・レベル設定など スタイリング表現に必要なカメラ撮影の基礎知識として、スタジオ撮影、ロケ撮影などの撮影方法の違いを理解し、それぞれの表現技術を習得する。スタイリストワークの授業と連動した撮影実習を通して表現の幅を広げていく。
---

授業概要=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、
1 カメラの基礎 I スタジオ撮影の基礎知識と技術 カメラの名称、使い方(絞り、シャッタースピード、データ保存など) 4コマ
2 カメラの基礎 II スタジオ撮影の基礎知識と技術 4コマ 撮影準備とライティングについて(バックペーパーセッティング、データの保存方法など)
3 スタジオ撮影実習 テーマ:「雑誌」 グループ課題 撮影実習(スタイリストワーク授業と連動) 4コマ
4 ロケ撮影実習 テーマ:「構図」 個人課題 撮影実習 同じファッションスタイルで5種類の構図(表現)の見え方を学ぶ 4コマ
5 ロケ撮影実習 テーマ:「年代別メイクのビューティー」 グループ課題 (スタイリストワーク授業と連動) ※文化スタジオ予定 4コマ
6 ロケ撮影実習 テーマ:「映画」 グループ課題 撮影実習(スタイリストワーク授業と連動) 4コマ
7 プレゼンテーション発表、講評 年間課題をまとめ個人プレゼン 4コマ

評価方法・対象・比重 出席状況、授業態度、レポート
------------------------------

主要教材図書
参考図書

その他資料
-------

授業の特徴と担当教員紹介 フリーランスカメラマンとして雑誌や広告の分野で活動していることから、実際の撮影現場で使用する表現方法、技術などを、授業を通して指導していく。
--

記載者書名欄 木村哲久
-------------

# 2025年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部 1

科コード	科名	ファッショント流通科2年 スタイリストコース	単位	2
科目コード	科目名	ヘア・メイク	授業期間	通年

担当教員(代表) : 夏目 幸恵	共同担当者 : 高木 大輔 (資生堂 SABFA)
------------------	------------------------------

教育目標・レベル設定など
スタイリストとして、さまざまなヘア・メイクの技術と知識を実習を通して学ぶ。更にスタイリング提案をより理解しやすいものにするために、イメージ表現の共通認識を深め、トータルな美意識を養い自己表現の可能性を広げる。

授業概要=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、	
①メイクの基礎知識	用具の使い方・手順・ナチュラルメイクの展示: 実習
②スペースバランス理論	スペースの見極め、ハイライト・シェーディング効果展示: マップ制作実習
③イメージメイクⅠ・Ⅱ	直線イメージ: フレッシュ・クール展示: 実習 アイメイク・リップメイクの基本展示(直・曲の描き方 説明)
④イメージメイクⅢ・Ⅳ	曲線イメージ: キュート・エレガント展示: 実習 アイメイク・リップメイクの基本展示(直・曲の描き方 説明)
⑤ヘア研究	ヘアアレンジ調査: レポート提出
⑥前期試験	イメージメイクの実技試験(1人40分)
⑦メイク研究	メイクアップアーティスト調査: レポート提出
⑧ヘアスタイルの基礎知識	ヘアの構造、ヘアブラシ、ヘア剤、ヘアピンの種類、 ヘアのまとめ方、編み込み、くせ付のテクニック展示: 実習
⑨イメージメイクⅤ	クラシックメイク 1920~1950年 各年代のファッション&メイクの特徴 50年代メイク 展示: 実習
⑩イメージメイクⅥ	モダンメイク 1960年 各年代のファッション&メイクの特徴 60年代メイク 展示: 実習
⑪イメージメイクⅦ	エスニックメイク 1970年 各年代のファッション&メイクの特徴 70年代メイク 展示: 実習
⑫イメージメイクⅧ	アバンギャルドメイク 1980年 各年代のファッション&メイクの特徴 80年代メイク 展示: 実習
⑬後期実技試験準備	イメージ作品トータル表現方法の説明: マップ制作
⑭後期実技試験	イメージ作品トータル表現の実技試験(1人45分) 2コマ×14回 —相モデル実習あり—

評価方法・対象・比重
授業作品(ノート含む)評価 + 試験評価 + 出席状況(学業評価80% 授業姿勢20%) [英数字評価]

主要教材図書
参考図書 MAKE-UP BEAUTY SABFA'S MAKE-UP
その他資料

授業の特徴と担当教員紹介
雑誌、広告、コレクションなどで活躍するプロのヘア・メイクアップアーティストからヘア・メイキャップの技術と知識を学び、スタイリング提案をより理解しやすくし、自己表現の可能性を広げるための授業を実施。

記載者書名欄 夏目 幸恵
--------------

# 2025年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RB1	科名 ファッション流通科1年	単位 2単位
科目コード	科目名 ファッション色彩	授業期間 (通年)

担当教員(代表) : 三木ゆか

共同担当者 : 落合里美

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッション流通の色彩に関する基礎的な技術や知識を、演習を中心に行いながら習得する。ファッション色彩能力検定3級に対応。テキストの内容に沿った講義や実習プリントの学習を通し、色彩の基本的な知識、配色の基礎、ファッションカラーコーディネーションのセオリーなどを理解し、ファッションの現場で活用できる能力を身につける。

## 【授業計画】

1. 導入 色について (講義 1コマ)
2. 色の三属性 色の三属性（色相・明度・彩度）  
等色相面／色立体  
Hue & Tone システム (講義および演習 5コマ)
3. 配色の基礎 色相を基準とした配色  
トーンを基準とした配色 (講義および演習 6コマ)
4. ファッションカラーコーディネーション フォ・カマイユ配色、トーン・イン・トーン配色  
トーン・オン・トーン配色、グラデーション配色  
コントラスト配色  
セパレーションカラー、アクセントカラー (講義および演習 4コマ)
5. 色彩構成の基礎 シンメトリー／アシンメトリー  
レピテーション／グラデーション (講義および演習 2コマ)
6. 色彩の理論 (テキスト『ファッション色彩1』に沿った、ファッション色彩能力検定試験3級に対応する学習)  
1章「概論—色彩のはたらき」／2章「色彩の体系」／3章「色彩理論—基礎」  
4章「色彩の技術」／5章「ファッション産業と色彩」 (講義 7コマ)
7. パーソナルカラー 4シーズンのカラーパレット  
4シーズンの特徴  
パーソナルカラー診断 (講義および演習 3コマ)

## 【評価方法】

S～C・F評価

前期試験の得点、色彩能力試験3級合否30%、提出物の評価40%、出席、課題の提出状況など授業態度30%

主要教材図書 『ファッション色彩1』 (文化出版局)

参考図書

その他資料 ベーシックカラー140・B6判、ベーシックカラー140・B8判 (日本色研事業株式会社)、カラーチャート140

## 授業の特徴と担当教員紹介

カラーコーディネーターのキャリアを活かし、ファッション業界の現場でビジネススキルとして活用する「カラーコーディネート」の習得を目指す授業を実施。

記載者氏名 三木ゆか